～市民と農業者をつなぐ
武蔵野市農業委員会だより～

むさし農

第26号　令和８年４月
編集・発行　武蔵野市農業委員会
〒180-8777 武蔵野市緑町2-2-28
Tel　0422-60-1833（直通）
Fax　0422-51-9408（直通）

北多摩地区農業委員会連合会とは



北多摩地区農業委員会連合会
会長　榎本　一宏

北多摩地区農業委員会連合会会長の榎本一宏です。

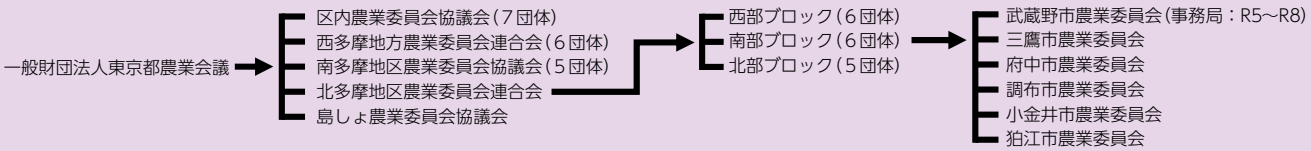
令和５年に私が連合会の会長に就任したため、本市農業委員会事務局が設立以来初めて、北多摩地区農業委員会連合会の事務局を担っています。まもなく就任から３年が経ちますが、他市の会長とともに、東京都における農業の中核を担う北多摩地区の農業振興及び農業が直面する諸問題の共有及び課題の解決に向けた取組みに邁進してまいりました。

さて、北多摩地区農業委員会連合会（以下「連合会」という。）とは、東京都内に５つ存在する地区協議会・連合会のひとつで、旧・北多摩郡域に属する計 17 市の農業委員会の会長をもって構成されています。多摩地域には、他に南多摩地区農業委員会協議会（５市）と西多摩地方農業委員会連合会（４市２町）がありますが、北多摩地区農業委員会連合会が構成市の数としては最大で、農業従事者数も最多となっています。

連合会は、農業委員の相互の連絡をはかり、「農業委員会等に関する法律」に定められた所掌事務の円滑適正な運営を期することを目的に、①農業委員会相互の情報連絡、②農業の改善向上に関する普及及び調査、③農業委員及び関係職員の研修等を実施しています。

気候変動や温暖化のみならず、農地に係る税制や鳥獣害をはじめ、都市農業が直面する課題は複数の自治体で共通のものも多く、より広域的に課題解決を行うためにも、本連合会で取り組む「横の連携」は年々重要度を増しています。北多摩地区における農業の更なる振興のため、任務を全うする所存です。

■北多摩地区農業委員会連合会　組織図概略



※　一般財団法人東京都農業会議と各連合会・協議会とは、東京都農業会議の賛助会員という位置づけになる

優秀農業経営者表彰
櫻井敏史さんが受賞！

２月４日、優秀農業経営者の表彰式がスイングホールで開催され、北多摩地区 17 名の方々が表彰されました。武蔵野市では櫻井敏史さん（関前）が表彰され、受賞者を代表して体験発表をいたしました。



▲表彰式で体験発表を行う櫻井敏史さん

農産物品評会　ｉｎ　むさしのエコreゾート

11月8・9日に農産物品評会を開催し、44農家から424点が出品されました。出品された農産物は、東京都の審査員に害虫の被害の有無・見た目の綺麗さ等を中心に審査されました。

平年に比べて梅雨の期間が短く、梅雨明け後は長期間にわたる少雨・猛暑に見舞われた年でしたが、そのような中でも、出品された農産物の鮮度や形状といった技術について、都審査員から全体的に高い評価を得ました。



武蔵野市長賞
髙橋　政孝（境西部）
品目：カリフラワー



武蔵野市農業委員会長賞
田中　博崇（吉祥寺）
品目：長ネギ



東京むさし農業協同組合長賞
櫻井　敏史（関前）
品目：かんしょ

※括弧内は生産組合名、敬称略

会場にご当地ヒーロー「蒼象神ザナ」が駆けつけてくれました！
野菜で作った宝船の前での写真撮影や、一緒にぬり絵をしたり、子どもたちだけでなく大人も楽しませてくれました！



農林水産大臣賞を受賞！

第54回東京都農業祭農畜産物共進会において、田中　博崇さん（吉祥寺北町）が農林水産大臣賞（品目：キャベツ）を受賞されました。都内全域の農畜産物についてその生産技術を競うこの共進会において、競われる技術はとてもハイレベルですが、同賞はその最高位になります。

誠におめでとうございます。





▲賞状を受け取る田中博崇さん（就農10年目）

農林水産省農産局長賞を受賞！

第74回関東東海花の展覧会が池袋サンシャインシティにおいて行われ、名古屋　和宏さん（関前）が農林水産省農産局長賞（品目：ラナンキュラス）を受賞されました。関東東海地域の花き生産者が丹精込めて栽培した花々の中から、金賞・特別賞となります。



さらに、銅賞（品目：ラナンキュラス）も受賞されました。

誠におめでとうございます。

農家見学会

11 月 29 日に、市内の小学 1 年生から 3 年生までと保護者を対象とした農家見学会を開催しました。今年は、東エリア（吉祥寺北町 3 丁目）と西エリア（境 5 丁目）の 2 か所のほ場で行われ、大根・キャベツ・ジャガイモを収穫しました。

収穫のほかに、どの野菜の種かを当てるクイズを楽しんだり、普段は触ることがない農機具に乗ってみたり、様々な体験ができました。また、いつも美味しい農産物を作ってくれる生産者の皆さんと直にお話しする貴重な機会で、子どもも大人もたくさん質問されていました。

東エリアの田中博崇さんのほ場では 25 組 53 人が参加。皆さん、長靴・手袋と用意万端で来てくれました。集合場所からほ場までは徒歩で 10 分弱。歩道を通り信号を渡るので移動には大変気を遣いましたが、無事畑に到着。

農業委員、JA のスタッフにアドバイスを受けながら収穫した野菜を自慢げに見せ合っていました。大根・キャベツを収穫して参加者の皆さん大満足！野菜の種のクイズにも子どもたちは目を輝かして集中していました。

参加者の皆さんは、熱く語る博崇さんのお話しにくぎ付け。給食部会でも活躍しているので、武蔵野市の農業を背負っていかれるお一人です。



この大根、大きそうだなあ▲



▲みてみて僕が掘った「ジャガイモ」どう！

西エリアの小林賢治さんのほ場では 14 組 29 人が参加。初めて農地に足を踏み入れた子供達・保護者とも、土の感触を楽しみながら野菜の生育を間近に見学しました。楽しみにしていた収穫体験では、生産者の説明を聞きながら、二種類のジャガイモと大根を四苦八苦しながらも楽しそうに収穫しました。参加者からは「ひとつの野菜を作るまでの大変さ」「収穫までの苦労・喜び」等多くのコメントをいただきました。

この見学会は、皆さんの間近にある「武蔵野の農業」を知っていただく機会として、今後も開催を予定しています。

指導農業士

1 月 14 日、都庁で開催された東京都指導農業士認定式において、新たに 2 名の市内農業者に対し、指導農業士の認定書が交付されました。指導農業士制度は、東京農業の担い手の確保・育成を目的に、平成 28 年度に東京都が創設した制度です。

令和元年	榎本　一宏、田中　恒男、大坂　新一
令和 6 年	榎本　一史、後藤　幸治
令和 7 年	田中　博崇、櫻井　敏史

（敬称略）

市議会議員との意見交換会

１月 30 日、髙橋栄治委員（吉祥寺北町）のほ場及びけやきコミセンを会場として、市議会議員との意見交換会を開催しました。この意見交換会は、市議会議員に市内農業の現状を知ってもらう機会として、ここ数年にわたって毎年開催しており、今年度は端境期を知っていただくことを目的に、この時期の開催となりました。

ビニールハウスの換気扇を回す音にも気を遣っている現状をはじめ、市民理解を得ながら営農している農業者の生の声に耳を傾けてもらいつつ、相続発生時に農地を売却せざるを得ないという逃れられない事実や気候変動の影響・鳥獣害をはじめ、市内農業者が抱えている課題を中心に、活発な意見交換が行われました。委員からは、市内農業が衰退しないために超党派で考えて欲しい、との意見も聞かれました。



農業振興基本計画を策定しました

令和８年度からの 10 年間を計画期間とする第４期武蔵野市農業振興基本計画が策定されました。昨年６月に農業振興基本計画策定委員会が設置され、検討が進められていましたが、２月に同委員会からの答申が行われ、この度完成の運びとなりました。

本計画は、「市民とともに価値を創造し、持続可能な農業を次の世代へ～人と人とをつなぎ、伝統をつなぐ武蔵野市農業～」を基本理念に掲げ、３つの基本方針に沿って具体的な施策を展開するものとなっています。これまで受け継いできた伝統を大切にしながらも、武蔵野市の農業がさらに持続発展的なものになるよう、農業委員会は市やＪＡ東京むさしと連携して取組みを進めてまいります。市ホームページに掲載しておりますので、ぜひご覧ください。

次期農業委員を募集します

令和８年７月 19 日をもって、現農業委員の任期が満了となります。それに伴い、同年７月 20 日からは新体制となります。武蔵野市の農業に関心やご興味のある方は、ぜひご応募ください。任期は３年間です。詳細は、令和８年３月１日号市報や市ホームページ等でお知らせしております。女性の方や 50 歳未満の方のご応募もお待ちしています。

令和７年中の農業委員会の事務処理件数（一例）

農地法第３条の３届出（相続時等届出）	３件	5,269㎡
農地法第４条届出（自己転用）	６件	2,763㎡
農地法第５条届出（所有権移転を伴う転用）	８件	2,923㎡
引き続き農業経営を行っている旨の証明（納税猶予制度）	27 件	73,543.73㎡

編集後記

市民と農業者をつなげたいと願い作成しています。

若手農業者の活躍ぶり、農業委員会の仕組みや活動を垣間見ていただけたかと思っております。

実際に農産物・農業者と触れ合うことができるイベントとして、農家見学会や農産物品評会等を継続して参りますので、是非ご参加をお待ちしております。

スマホで検索

農業委員会だよりはこちら↓

直売所マップはこちら↓

アンケートはこちら↓